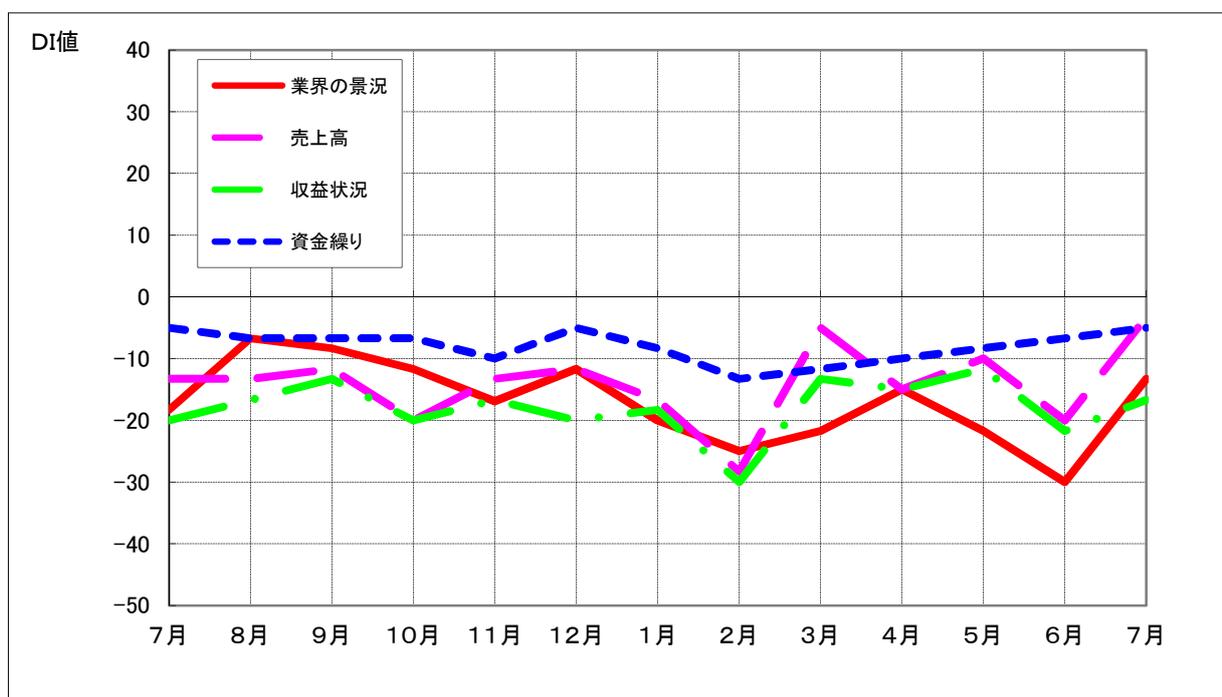


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成29年7月～平成30年7月

単位:ポイント



	H29						H30						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-18.3	-6.7	-8.3	-11.7	-16.9	-11.7	-20.0	-25.0	-21.7	-15.0	-21.7	-30.0	-13.3
売上高	-13.3	-13.3	-11.7	-20.0	-13.3	-11.7	-16.7	-28.3	-5.0	-15.0	-10.0	-20.0	-3.3
収益状況	-20.0	-16.7	-13.3	-20.0	-16.7	-20.0	-18.3	-30.0	-13.3	-15.0	-11.7	-21.7	-16.7
資金繰り	-5.0	-6.7	-6.7	-6.7	-10.0	-5.0	-8.3	-13.3	-11.7	-10.0	-8.3	-6.7	-5.0

7月のDI値は前月と比べ、全項目で改善した。「業界の景況」DI値は16.7ポイント、「売上高」DI値は16.7ポイント、「収益状況」DI値は5ポイント、「資金繰り」DI値は1.7ポイントそれぞれ改善した。前年同月比でみると3項目改善、1項目不変となり、「業界の景況」DI値は5ポイント、「売上高」DI値は10ポイント、「収益状況」DI値は3.3ポイントとそれぞれ改善した。「資金繰り」DI値は不変となったが、全項目で前月比、前年同月比ともに改善傾向がみられる結果となった。連絡員からは猛暑の影響により、原料の高騰や一般消費者の需要減が目立ったと報告が寄せられている。猛暑の影響を受けず、堅調に売上を伸ばした事業者も存在するが、人材不足により需要に応えることができない状況に陥っている。

組合の特記事項では、全体的に記録的猛暑による影響があったとの報告が多く寄せられた。製造業において、食料品原料の高騰は未だ回復傾向がみられず、猛暑による更なる高騰も懸念される。その他の製材、生コンクリート、鉄鋼・金属、一般機器製造業においては出荷量・受注量は堅調に推移しているが、人手不足による機会損失で、更なる売上増加が難しい状況にある。非製造業においては、一部季節商品の売上は良かったと報告があったものの、消費者が不要・不急の外出を避けた影響もあり、集客数・売上が落ち込んだと報告が寄せられている。